



多摩よこやまの道

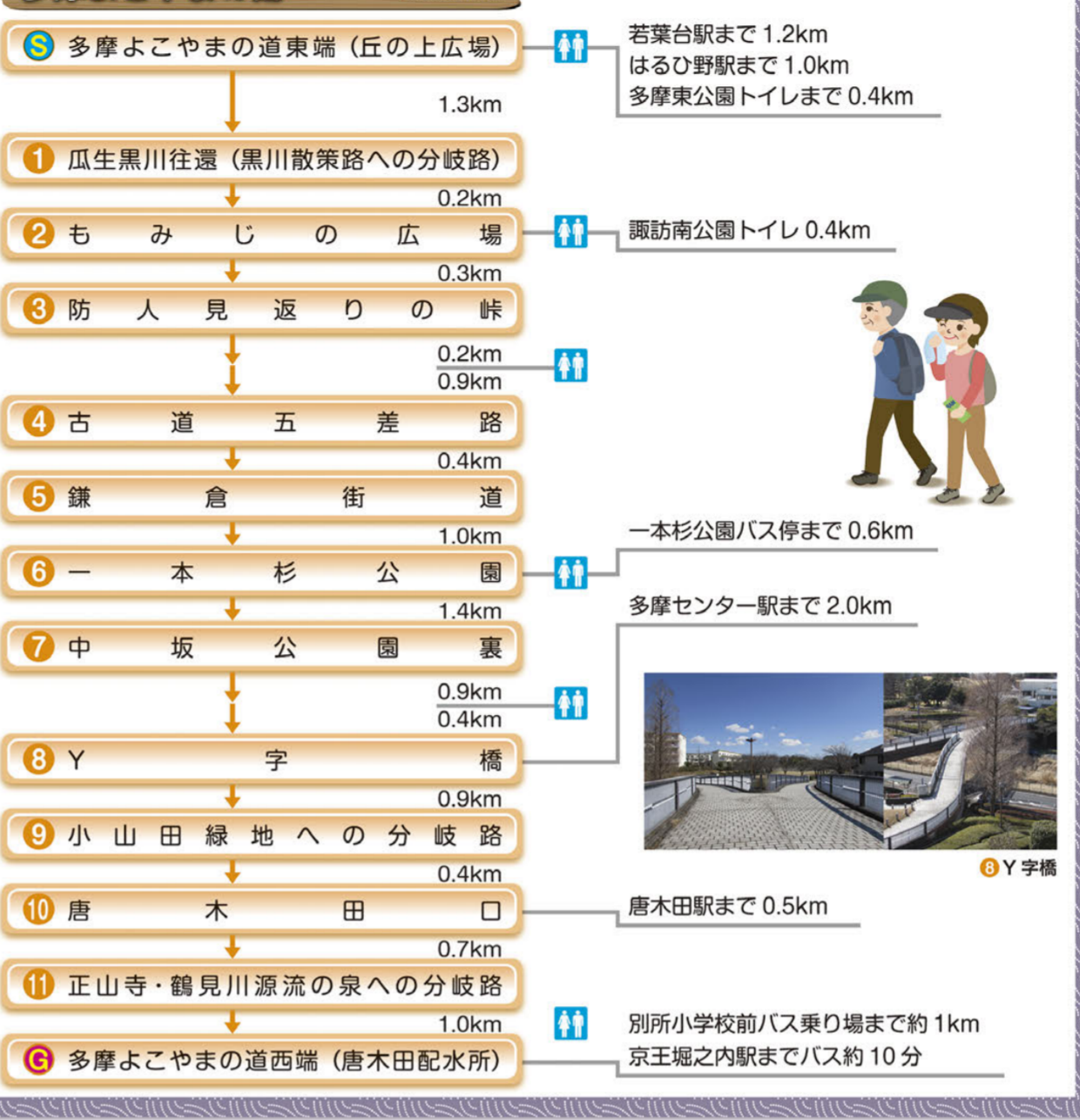
万葉集に「多摩の横山」と詠まれた多摩丘陵の尾根部に位置し、全長は約10kmにおよびます。平成27年には、新日本歩道紀行100選「歴史の道」にも認定されました。道の途中には、多摩市域を一望でき、天気が良ければ富士山まで望める「防人（さきもり）見返りの峠」や多摩ニュータウンの街並みを見渡せる「展望広場」などの眺望ポイントのほか、随所に四季折々の自然を楽しむことができる自然観察ポイント、史跡や伝説などの歴史ポイントなどがある見所満載の散策コースです。

歴史の流れを知る古道を歩む



歴史文化の道 ~多摩ニュータウンの尾根筋~

「多摩よこやまの道」の位置する尾根筋は、古代より武蔵野と相模野の双方を眺められる高台として、また西国と東国を結ぶさまざまな交通の要衝として活用されてきました。この尾根筋には、鎌倉古道（鎌倉街道早ノ道、鎌倉街道上ノ道、軍事戦略鎌倉道）や奥州古道、奥州廃道、古代の東海道、などの重要な歴史街道（古街道）が縦走、横断し、その痕跡やさまざまな伝説が語り継がれています。古代から中世〜江戸時代にわたって政治、軍事、文化、産業、社寺・霊地参詣などを目的として、東国〜西国間の交通を行う商人や鎌倉武士団、諸国霊場を行脚する巡礼者や貴人、新道組が行き来したと推測され、歴史とロマンを感じることのできる道となっています。



多摩よこやまの道の由来

「万葉集にも詠われた防人の道」
赤駒を山野に放し捕らえて
多摩の横山徒歩ゆか遣やむ
豊島郡の上下稲持野原が集 宇道歌集

「横に長く連なる尾根のシルエット」
多摩丘陵は武蔵の国府（府中）から眺めると横に長く連なる山々でした。夕暮れにはその姿がシルエットで浮かび、「多摩の横山」「扇引き山」とも呼ばれていました。

この万葉歌は、「赤駒を山野の中に放して捕らえられず、夫に多摩の横山を歩かせたもうの道か」という防人の妻の心づくしの歌です。東国から遠く北九州で国防の兵役につく防人は、再び故郷の土を踏むことはほとんどありませんでした。武蔵野を眺望できる横山の尾根で故郷を振り返りながら、家族との別れを惜しんだ防人の姿が浮かんでくる。「よこやまの道」はこの万葉歌の「横山」から名づけました。

歴史観察のポイント

- (1) 瓜生黒川往還
川崎市黒川と多摩市永山の瓜生を結んでいた往還です。黒川の「黒川渡」や「禅寺丸峠」などを八王子方面や江戸市中に運ぶのに使われていました。
- (2) 古代東海道と丸山城
古代東海道は現東海道と異なり、相模国府〜武蔵国府間は多摩丘陵を通過していました。黒川配水の高台は丸山城とも呼ばれ、古代東海道の物見や狼煙（のろし）とも考えられます。
- (3) 分倍河原合戦前夜の野営地
鎌倉幕府滅亡の戦で知られる分倍河原の合戦前夜、幕府軍の北条泰家軍二十万騎の大軍勢は、このよこやまの道の尾根で息を潜めて一夜を明かしたと伝えられています。
- (4) 並列する謎の古街道
地図のない時代、現在地や目的地の方向を知るため、旅人は眺望の利く尾根を通過していました。よこやまの道の尾根には数本の古街道が並行する大規模な古道跡があります。
- (5) 古道五差路
古道が集まっている五差路です。野津田や金井、本町田へと続く古道が通っていました。交通の要衝であった小野路の宿を避けて鎌倉へ向かうことのできる近道の古道だったようです。
- (6) 大軍勢が通った現鎌倉街道の谷
現在の鎌倉街道が通る谷は、南北に伸びた自然の谷です。戦乱の時代には源頼朝や新田義興、上杉謙信らの大軍勢がこの谷を通過していったと思われます。
- (7) 新道組も通った通称鎌倉裏街道
鎌倉街道の一つに、関所を避けた通称鎌倉裏街道があります。黒川の「黒川渡」や「禅寺丸峠」などを八王子方面や江戸市中に運ぶのに使われていました。
- (8) 奥州古道と石仏群
この付近には奈良や京都の都まで続く「奥州古道（国府街道）」が通っていました。近くには、古道筋にあった石仏たちが集められた石仏群が残されています。
- (9) 古戦場伝説
鎌倉幕府を滅亡に追い込んだ新田義興鎌倉攻撃の古戦場の一つがこの付近です。近くには戦の犠牲者を祀った塚や戦に因る伝説が残されています。
- (10) 奥州廃道
『よこやまの道』には東北へ向かう「奥州廃道（最も古い奥州古道）」が通っていました。源頼朝の祖父の頼義、義家の奥州征討伝説のある神社（大國魂神社、百草八幡宮、箭柄八幡宮）はこの古道筋にあります。
- (11) 小山田氏
平安時代、「よこやまの道」のあたりは朝廷管理の馬の牧場で、奥州古道を使って馬を運んでいました。小山田氏はこの牧場を経営する長官（別当）として秩父から赴任してきた一族でした。

多摩よこやまの道自然

多摩よこやまの道には、多摩の里山の自然が残されています。野に咲く花や、飛び交う蝶、小鳥のさえずりなど、季節ごとに移ろう生き物たちと出会うことができます。

エドヒガン メジロ



アンテナショップ & 特産品

多摩市 & 長野県富士見町共同アンテナショップ
ポンテは、東京多摩市と、友好都市である長野県富士見町の特産品の販売や観光PRを行っています。

桜ほろろん
口の中で溶けるまでに「ほろろん」と3回唱えると幸せが訪れるというスペイン発祥のお菓子が市内産の桜の塩漬けをあしらいました。お祝いごとやご挨拶にぴったりの焼き菓子です。

焼きかりんとう「多摩の散歩道」
販売場所 アンテナショップポンテ他

地酒「原峰のいすみ」
都内で唯一、多摩市産のお米を100%使用した「純米吟醸酒」です。市内の米作農家4戸が生産した酒造好適米を使用しています。

おらがまの梅酒「白加賀」
この梅酒は、多摩市内産の白加賀梅を使用し、体に良い果糖100%と丁寧な6段仕込みで自然の旨味と香りを表現した究極の梅酒です。

手作り味噌「原峰のかおり」
市内の農家が共同で作った、無添加で安心・安全な手作りのおいしい味噌です。地産産の自然な風味をぜひお試しください。

販売場所 JA東京みなみ他